

# 受診者様用

株式会社 MCBI

## MCI スクリーニング検査 Q & A

Ver 1. 0 7 (2019/05/18)

## 目次

Q1 MCI スクスリーニング検査とは何ですか？ .....	3
Q2 検査内容について教えてください。 .....	3
Q3 MCI スクリーニング検査に適する年齢は？ .....	3
Q4 全体でどのくらいの割合が D 判定となりますか？ .....	3
Q5 陽性判定が出た場合、どのようにすればいいですか？ .....	3
Q6 MCI スクリーニング検査の判定結果に影響がある疾患は何ですか？ .....	4
Q7 薬やサプリメントを飲んでいる場合、MCI スクリーニング検査の判定結果に影響はありますか？ .....	4
Q8 通常の健康診断等の血液検査と同様に空腹で採血する必要がありますか？ .....	4
Q9 保険は適用されますか？ .....	4
Q10 検査を受ける頻度はどのくらいが適切でしょうか？ .....	5
Q11 認知症が進まないようにどのように予防すればよいでしょうか？ .....	5
Q12 サプリメントは予防に良いのですか？ .....	5

Q 1 MCIスクリーニング検査とは何ですか？

アルツハイマー型認知症の前段階である軽度認知障害（MCI）のリスクを統計学的に調べる検査です。

A～Dの4段階で判定されます。なお、早期に発見し診断を受けるためのスクリーニング検査ですので、この検査の判定結果で診断が確定するものではありません。

Q 2 検査内容について教えてください。

アルツハイマー病はアミロイドベータペプチドという老廃物が脳に蓄積し、神経細胞を破壊することで発症します。

MCIスクリーニング検査では血液内のアミロイドベータペプチドの毒性を弱め、脳・髄液から血液への排出にかかわる3つのタンパク質（ApoA1、C3、TTR）の血液中の濃度を調べることにより、アルツハイマー型認知症の前段階である軽度認知障害（MCI）のリスクを統計学的に推定しています。

Q 3 MCIスクリーニング検査に適する年齢は？

50歳以上の方にお勧めします。認知症発症者数は70歳代で急激に増えることがわかっています。

発症の約20年前からアミロイドベータペプチドの蓄積が始まるため、自覚症状がなくても検査をお勧めします。

Q 4 全体でどのくらいの割合がD判定（リスクが高め）となりますか？

全体では7%ほどです。年代によってもばらつきがあります。50歳代の方は2%、60歳代は4%、70歳代は11%となっております。

Q 5 陽性判定が出た場合、どのようにすればいいですか？

D判定（リスクが高め）、またC判定でもリスク値がDに近い値で物忘れが気になる方は、専門医による二次検査をお勧めしております。

Q 6 MCIスクリーニング検査の判定結果に影響がある疾患は何ですか？

<検査を受けられない方>

すでに認知症と診断されている方は対象外です。本検査はアルツハイマー型認知症の前段階である軽度認知障害（MCI）のリスクを統計学的に調べる検査であるため、認知症を発症されている方は対象外となります。

<以下の疾患に該当する方は判定結果に影響がある可能性があります>

- 1) 自己免疫性疾患の方
- 2) 急性肝障害、急性腎障害の方
- 3) 肝硬変の方
- 4) 重度の栄養不良の方
- 5) 先天的に脂質異常の方

Q 7 薬やサプリメントを飲んでいる場合、MCIスクリーニング検査の判定結果に影響はありますか？

Q 6の疾患の治療薬を飲んでいる場合、判定結果に影響がある可能性があります。

その他、風邪薬やサプリメントは問題ありません。

Q 8 通常健康診断等の血液検査と同様に空腹で採血する必要がありますか？

MCIスクリーニング検査のみの場合、飲食は関係ありません。

ただし健診（人間ドックまたは定期健康診断など）がある方は、健診当日の飲食はしないでください。

Q 9 保険は適用されますか？

この血液検査は自由診療になりますので、保険は適用されません。

Q 1 0 検査を受ける頻度はどのくらいが適切でしょうか？

判定結果により必要な頻度は異なります。

アミロイドベータペプチドは20年くらいかけて脳の中にたまり、神経細胞にダメージを与えるといわれています。

結果がA判定であっても、徐々に蓄積していきますので、少なくとも2年に1度の検査をお勧めします。また、食生活と適度な運動に心がけ予防に取り組むと、認知症の発症を遅らせることができます。

B判定は年1回、C判定は半年～1年ごとの検査をお勧めします。

D判定の場合は二次検査をお勧めします。尚、二次検査で問題がなかった方は1年ごとに1回の検査をお勧めします。

Q 1 1 認知症が進まないようにどのように予防すればよいでしょうか？

生活習慣病の予防と共通するものも多く、特に食生活と運動に注意してください。

野菜や魚が多く飽和脂肪酸が少ない食事（地中海式食事）がよいとされています。また適度な有酸素運動をはじめ、定期的に頭と体を使うことをお勧めします。

詳細については検査結果報告書に同封されている「認知症予防マニュアル」をご参照ください。

Q 1 2 サプリメントは予防に良いのですか？

認知症の進行を遅らせるというサプリメントはありませんが、生活習慣病改善につながるサプリメントを飲むことは認知症の予防にある程度の効果があります。サプリメントについても「認知症予防マニュアル」に記載がございますので、そちらをご覧ください。